

神戸都心・臨海地域 都市再生緊急整備協議会

令和 7 年度 安全確保計画部会

令和 7 年度の活動報告

令和 8 年 3 月

神戸都心・臨海地域帰宅困難者対策委員会事務局



報告事項

1 都市再生安全確保計画等の改定	P.2
2 訓練	P.4
3 広報	P.19
4 神戸駅周辺地域における 帰宅困難者対策の取組について（情報提供）	P.21

1

都市再生安全確保計画等の改定

内閣府「大規模地震の発生に伴う帰宅困難者等対策のガイドライン」の改定を踏まえ、都市再生安全確保計画等を改定します。

「資料2 都市再生安全確保計画等の改定概要」のとおり以下の計画等を改定します。

計画等

神戸市帰宅困難者対策基本指針

神戸都心・臨海地域都市再生安全確保計画

神戸都心・臨海地域帰宅困難者対策計画

帰宅困難者誘導マニュアル

一斉帰宅抑制ガイドライン

一時滞在施設運営ガイドライン

2

訓練

(1) プレ訓練

プレ訓練は、令和8年1月14日（水）、15日（木）に、一時滞在施設にて実施しました （各施設30分程度）

1 日時

日付：令和8年1月14日（水）、15日（木）※別日で実施（予定）の施設有
時間：9:00～17:00の間（各施設30分程度）

2 場所

一時滞在施設（28施設）

3 訓練項目

- （1）帰宅困難者支援システムを利用した帰宅困難者の受入れ
- （2）帰宅困難者受入れ予定場所の確認
（※一時滞在施設運営マニュアルの確認、備蓄場所の確認含む）※該当施設のみ

4 参加者

- （1）一時滞在施設協力事業者
- （2）委員会事務局（市、委託事業者） ※帰宅困難者役として

令和8年1月14日（水）、15日（木）にプレ訓練を実施しました（1/2）

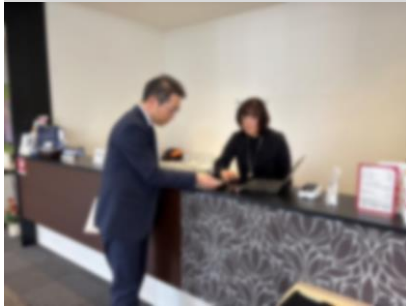
実施日	1 班（JR神戸線の南側）	2 班（JR神戸線の北側）
1月14日（水）	神戸ポートピアホテル 神戸国際会館 スペースアルファ三宮 松岡ビル 中央区文化センター GLION ARENA KOBE	神戸文化ホール 中央労働センター のじぎく会館 ひょうご女性交流館 兵庫県教育会館(ラッセホール)
1月15日（木）	ホテルオークラ神戸 コンフォートホテルERA神戸三宮 エスタシオン・デ・神戸 神戸サンボーホール 兵庫池田文化会館 三宮研修センター	兵庫県私学会館 ひょうご共済会館 神戸市教育会館 神戸女子大学教育センター 神戸三宮シアター・エートー 春日野平安祭典会館

※一部の施設では、帰宅困難者支援システムを利用した帰宅困難者の受入れが円滑に実施できない状況が見受けられました。
これを踏まえ、今後は事務局において必要な支援を行い、受入れ体制の強化・改善に取り組んでまいります。

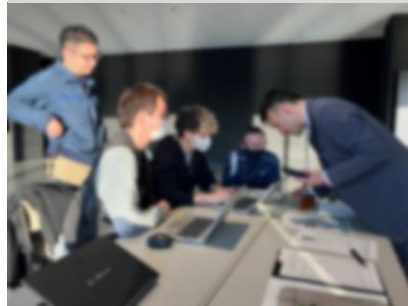
令和8年1月14日（水）、15日（木）にプレ訓練を実施しました（2/2）

（1）帰宅困難者支援システムを利用した帰宅困難者の受入れ

スペースアルファ三宮



GLION ARENA KOBE



ホテルオークラ神戸



コンフォートホテルERA神戸三宮



エスタシオン・デ・神戸



神戸サンボホール



兵庫池田文化会館



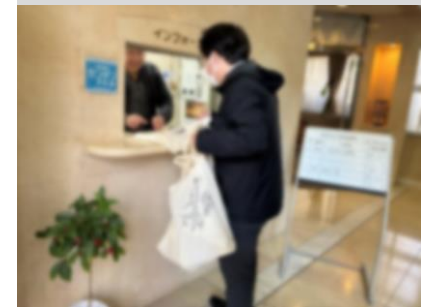
三宮研修センター



神戸文化ホール



ひょうご女性交流会館



(2) メイン訓練

令和8年1月16日（金）に、三宮駅周辺地域を起点とし、帰宅困難者の誘導、一時滞在施設における帰宅困難者の受入れ訓練を実施しました

1 日時

日付：令和8年1月16日（金）

時間：12:30～15:00

2 場所

- (1) 三宮駅周辺
- (2) 東遊園地
- (3) デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）

3 訓練項目

- (1) 「駅やその周辺地域」から「一時退避場所」への誘導
 - 警備員、スピーカードローン（検討中）等での誘導方法の検討
- (2) 「一時退避場所」から「一時滞在施設」への誘導
 - 市職員、帰宅困難者支援システム
- (3) 「駅やその周辺地域」から「一時滞在施設」への誘導
 - 帰宅困難者支援システム
- (4) 「一時滞在施設」における帰宅困難者の受入れ
 - 受付、誘導、滞在、物資提供、情報提供など
- (5) 神戸市帰宅困難者対策事業の広報
 - 協力企業の防災展示・事業広報
 - 神戸市による一斉帰宅抑制の啓発

帰宅困難者対策協力事業者、委員会、民間警備会社、神戸市、地域団体等が参加し、2時間程度のスケジュールで実施しました

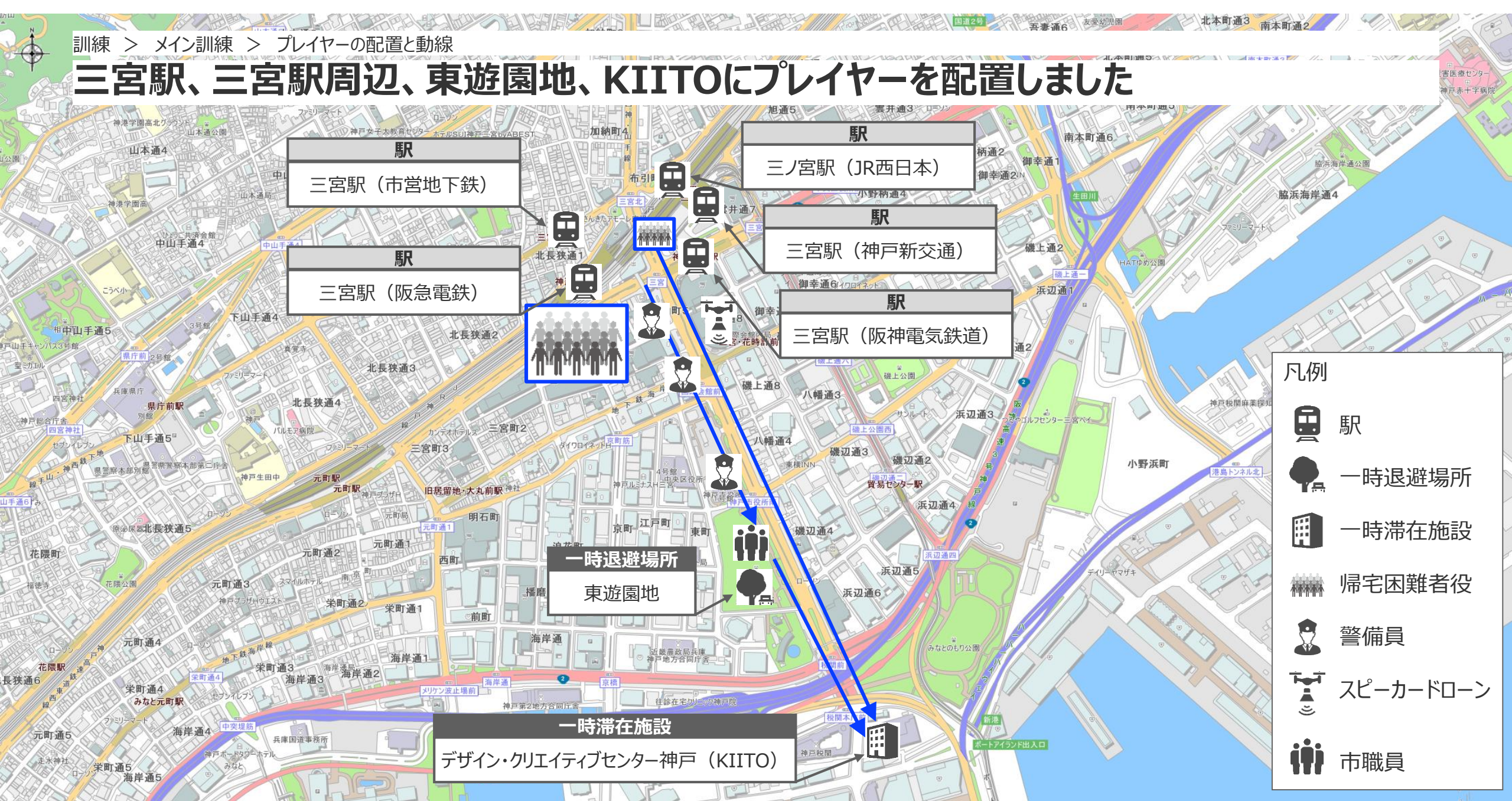
4 参加者

- (1) 帰宅困難者対策協力事業者
- (2) 委員会
- (3) 民間警備会社
- (4) 神戸市
- (5) その他
旧居留地連絡協議会、三ノ宮南まちづくり協議会、
新港町に拠点を置く事業者等

5 進行スケジュール

時間	内容
11:00 ~ 12:00	広報ブースの出展準備
12:00 ~ 12:30	訓練開始準備
12:30 ~ 13:00	情報共有訓練 帰宅困難者誘導・受付訓練
13:00 ~ 14:15	開会挨拶・概要説明 帰宅困難者受入れ訓練（アンケート）
14:15 ~ 14:25	訓練振り返り・講評
14:25 ~ 14:55	広報イベント、広報ブース出展
14:55 ~ 15:00	閉会挨拶

三宮駅、三宮駅周辺、東遊園地、KIITOにプレイヤーを配置しました



「駅やその周辺地域」から「一時退避場所」への誘導では、警備員およびスピーカードローンによる帰宅困難者の誘導を行いました

6 訓練内容・流れ



(1) 「駅やその周辺地域」から「一時退避場所」への誘導

■ 警備員による誘導

- 三宮駅から一時退避場所（東遊園地）に至る経路上に警備員を配置【民間警備会社】
- 帰宅困難者役を一時退避場所（東遊園地）へ誘導【民間警備会社】

■ スピーカードローンによる誘導

- 駅周辺地域にてスピーカードローンを運航（上空から音声で誘導）



「一時退避場所」から「一時滞在施設」への誘導では、市・警備会社で連携した一時退避場所の運営を行いました

6 訓練内容・流れ



(2) 「一時退避場所」から「一時滞在施設」への誘導

■ 一時退避場所の開設

- 一時退避場所（東遊園地）の運営資機材の設置【市】

■ 市・警備会社で連携した一時退避場所の運営

- 一時退避場所（東遊園地）内での誘導【市、民間警備会社】
- 紙の受付票による一時滞在施設（KIITOほか（※））への誘導【市】
（※）今回の訓練ではKIITOのみ実際に開設。
KIITO以外は訓練上の設定として開設。

■ 看板を設置

- KIITO入口に看板を設置【KIITO】



「駅やその周辺地域」から「一時滞在施設」への誘導では、帰宅困難者支援システムによる帰宅困難者の誘導を行いました

6 訓練内容・流れ



(3) 「駅やその周辺地域」から「一時滞在施設」への誘導

- 帰宅困難者支援システムへの一時滞在施設の開設登録
 - LINEオープンチャットでの開設報告【KIITO】
 - 帰宅困難者支援システムへの開設登録【KIITO】
- 帰宅困難者支援システムの二次元コードの表示
 - 三宮駅や周辺施設のサイネージでの二次元コードの放映【鉄道事業者、協力事業者】
- 帰宅困難者支援システムによる誘導
 - スマートフォンでの二次元コード読み取り、KIITOの利用登録【帰宅困難者役】
 - 帰宅困難者支援システムの誘導にしたがってKIITOへ移動【帰宅困難者役】



「一時滞在施設」における帰宅困難者の受入れでは、KIITOにおける一時滞在施設の開設・運営を行いました

6 訓練内容・流れ



(4) 「一時滞在施設」における帰宅困難者の受入れ

■ KIITOにおける一時滞在施設の開設・運営

- 一時滞在施設の開設・運営マニュアルに基づく対応（開設準備、受付、誘導、滞在、物資提供、情報提供など）【KIITO】
- 訓練参加者アンケートへの回答【帰宅困難者役】
- 広報イベントへの参加、企業広報ブースの見学【帰宅困難者役】
- 広報グッズの配布【各ブース出展者】

(5) 神戸市帰宅困難者対策事業の広報

- 防災展示、事業広報【協力企業】
- 一斉帰宅抑制の啓発イベント【市】



東京大学先端科学技術研究センターの廣井教授に、訓練の講評をしていただきました

講評：東京大学先端科学技術研究センター 廣井 悠 教授

- 本日の訓練では、帰宅困難者の受入れや誘導が非常にスムーズであり、事前の訓練計画とマニュアルの作り込みがよく表れていた。
- 神戸市の帰宅困難者支援システムは全国でも新しく、帰宅困難者を「質」でとらえて一時滞在施設に配分する先進的な取り組みであり、神戸市が4年前からこの視点を持っていた点は高く評価できる。
- 首都圏の帰宅困難者対策では、最新の地震被害想定を基に要援護者の多さが大きな課題として浮上しており、神戸市で取り入れられているような帰宅困難者支援システムはその解決策として注目されている。
- 大規模地震時には、行政が帰宅困難者対策にリソースを割けない可能性があるため、自助・共助や企業の役割が不可欠である。
- 「帰宅困難者対応は災害時に自分たちがやるものだ」という「自分ごと」感を持って、来年度以降も取り組んでいただきたい。



3

広報

広報チラシの配架やブースの出展、神戸市Webサイトへの掲載により、帰宅困難者対策の広報を行いました

■ 広報チラシ・ブース出展

- 帰宅困難者広報チラシの配架
- 神戸防災のつどい2026でのブース出展
- 地域の防災イベントでのブース出展



■ サイネージ放映

- クモイビジョン
- 神戸国際会館サイネージ
- ハーバーランドビジョン
- JR三ノ宮駅構内モニター



■ インターネット

- 神戸市Webサイト 2026年1月6日
神戸市. 神戸市帰宅困難者対策訓練の実施, 2026-1-6,
<https://www.city.kobe.lg.jp/a70034/349674227922.html>,
(参照 : 2026-02-16) .



4

神戸駅周辺地域における 帰宅困難者対策の取組について（情報提供）

10府県・関西広域連合・府県バス協会の「大規模広域災害時におけるバスによる緊急輸送に関する協定」に関する連絡先を確認し、帰宅困難者の輸送の実効性を確保しました

■ 「大規模広域災害時におけるバスによる緊急輸送に関する協定」の実効性確保

10府県並びに関西広域連合と府県バス協会が締結している「大規模広域災害時におけるバスによる緊急輸送に関する協定」に関し、各自の連絡先の確認を行い、帰宅困難者の輸送の実効性を確保

大規模広域災害時におけるバスによる緊急輸送に関する協定

締結日：平成27年（2015年）12月2日

締結者：福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、
関西広域連合、（公社）福井県バス協会、（公社）三重県バス協会、（一社）滋賀県バス協会、
（一社）京都府バス協会、（一社）大阪バス協会、（公社）兵庫県バス協会、（公社）奈良県
バス協会、（一社）鳥取県バス協会、（一社）徳島県バス協会

目的：大規模広域災害時に被災者等の緊急輸送を円滑に実施すること

概要：府県バス協会は、大規模広域災害時において、府県からの要請に基づき、次の業務に協力する。

- ・被災者（滞留者を含む）の輸送業務
- ・災害応急対策に必要な要員、資機材等の輸送業務
- ・ボランティアの輸送業務 等

他府県への協力を要請する必要がある場合は、広域連合が応援調整を実施する。

(参考資料) 訓練参加者アンケート結果

今回の訓練では、訓練目的に沿った効果検証を行うため、訓練参加者を対象にWebアンケートを実施しました

実施概要	
目的	今年度の訓練目的・訓練項目を踏まえ、今回の訓練の効果を確認すること
対象	訓練参加者
実施方法	インターネットによる回答（Webアンケートフォームへの入力）
実施期間	令和7年1月16日（金）～1月29日（木）
有効回答数	166件

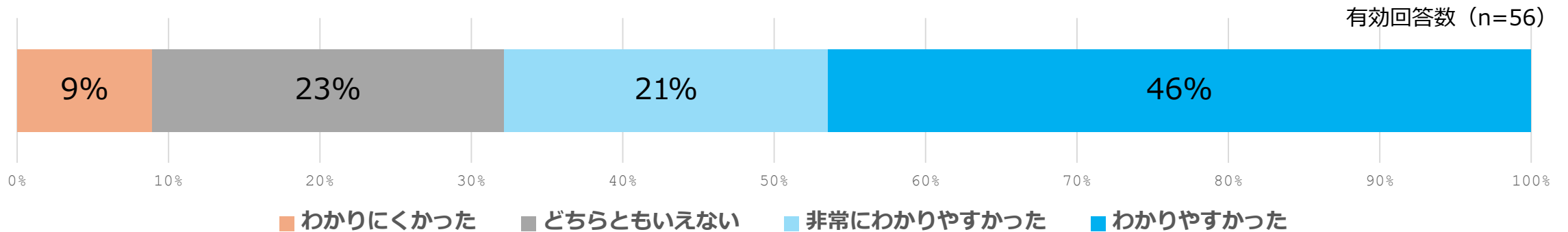
アンケートでは、今年度の訓練目的・訓練項目に沿って設問を構成し、参加者の所属に応じてご回答いただきました

参加者 (プレイヤー)	アンケート項目 (= 訓練項目) 【凡例】 ○ : 回答対象 / - : 非回答対象				
	(1) 「駅やその周辺地域」から「一時退避場所」への誘導	(2) 「一時退避場所」から「一時滞在施設」への誘導	(3) 「駅やその周辺地域」から「一時滞在施設」への誘導	(4) 「一時滞在施設」における帰宅困難者の受入れ ※本訓練の新規検証項目	(5) 神戸市帰宅困難者対策事業の広報
一時滞在施設協力事業者 (KIITO除く)	-	-	○	○	○
帰宅困難者対策委員会 (一時滞在施設協力事業者除く)	○	○	-	○	-
民間警備会社	○	-	-	-	-
旧居留地連絡協議会・ 三ノ宮南まちづくり協議会	○	○	-	○	○
新港町に拠点を置く事業者等	-	-	-	○	○
KIITO (一時滞在施設)	-	-	-	○	○

警備員による誘導は、7割近くの方が「わかりやすかった」と評価した一方、案内方法や掲示物の工夫などについて、改善点も指摘されました

(1)「駅やその周辺地域」から「一時退避場所」への誘導

設問① 警備員による誘導はわかりやすかったですか。【単一回答】



設問② 警備員による誘導について、よかった点、課題と感じた点など、ご意見をお聞かせください。【自由記述】

【民間警備会社からの回答】

- ・不測の事態に備える訓練は重要と感じる。定期的に行ってほしい。
- ・訓練という姿勢でなく、緊迫感をもっと高められたらよい。

【その他参加者からの回答】

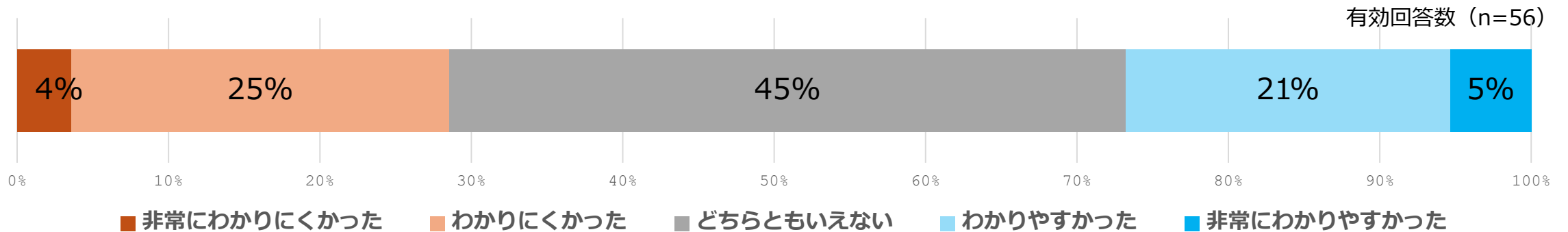
- ・大きな声で案内いただけました。
- ・大きめ誘導のプラカードなど、掲示物があってもよいのではと思った。
- ・場所によっては車の通行もあり聞き取りにくかった。

※自由記述の設問については、回答を抜粋の上、内容を一部要約しています。

スピーカードローンによる誘導は、「わかりやすかった」という評価は3割に留まり、音量や台数などについて、改善点が指摘されました

(1)「駅やその周辺地域」から「一時退避場所」への誘導

設問③ スピーカードローンによる誘導はわかりやすかったですか。【単一回答】



設問④ スピーカードローンによる誘導について、よかった点、課題と感じた点など、ご意見をお聞かせください。【自由記述】

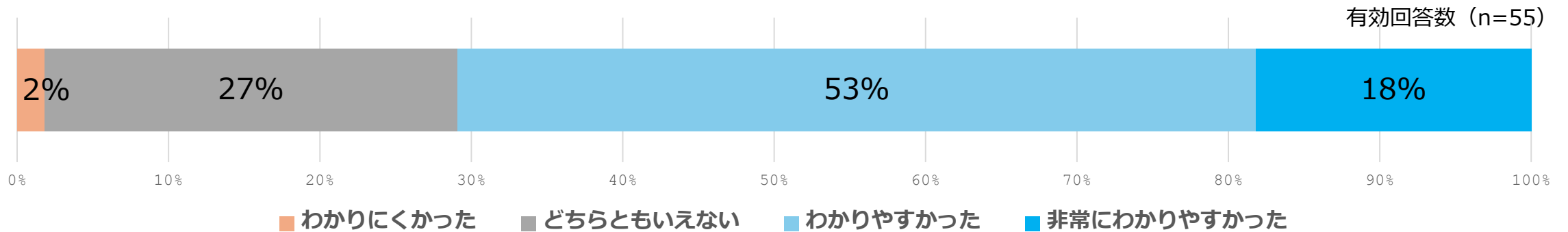
- ・いい施策、アイデアだが音が小さい。
- ・1機だけだったので少しわかりにくかった。数をもっと多ければ問題ないと思う。
- ・ドローンの配置台数、配置方法など、実践を想定した誘導を深掘りいただけると、より安心できると感じた。
- ・車の往来で聞こえにくいかもしれないので、繰り返し放送するのがいいかと思った。

※自由記述の設問については、回答を抜粋の上、内容を一部要約しています。

神戸市職員による誘導は、7割の方が「わかりやすかった」と評価した一方、資料配布の方法や掲示物などについて、改善点も指摘されました

(2)「一時退避場所」から「一時滞在施設」への誘導

設問① 東遊園地での神戸市職員による誘導は分かりやすかったですか。【単一回答】



設問④ 神戸市職員による誘導について、よかった点、課題と感じた点など、ご意見をお聞かせください。【自由記述】

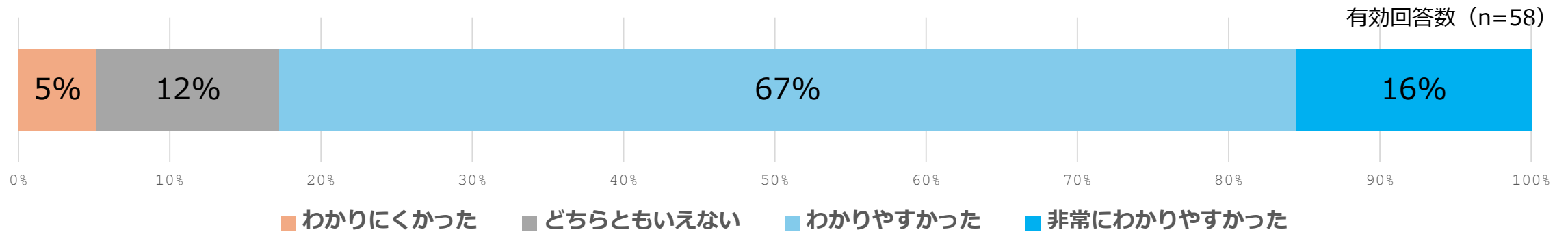
- ・実際の災害時はどうなるかわからないが、対応は比較的スムーズだった。
- ・内容はわかりやすいが声が聞き取りにくかった。
- ・資料配布のオペレーションの考慮が必要
- ・案内所とわかる掲示があってもよいのではと思った。
- ・人が多くなって一斉に帰宅困難者が訪れた場合に対応できるのか疑問である。

※自由記述の設問については、回答を抜粋の上、内容を一部要約しています。

帰宅困難者支援システムによる誘導は、8割の方が「わかりやすかった」と評価しました

(3)「駅やその周辺地域」から「一時滞在施設」への誘導

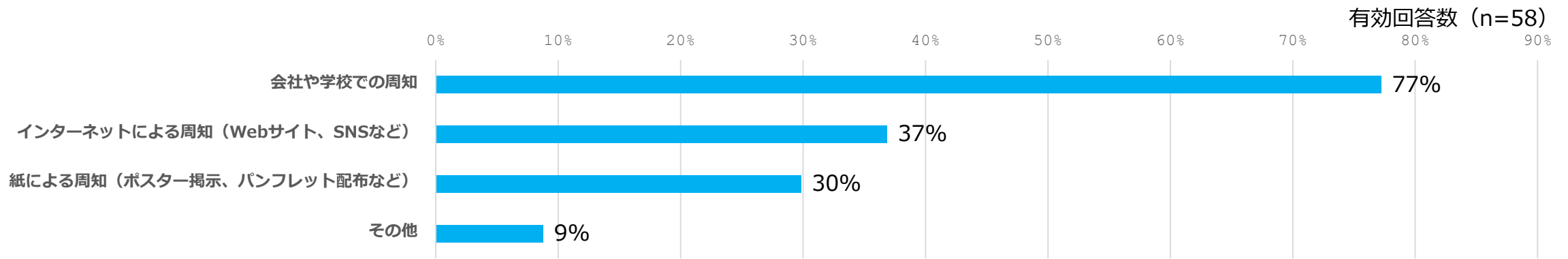
設問① 帰宅困難者支援システムによる誘導はわかりやすかったですか。【単一回答】



帰宅困難者支援システムの定着化に向けた平常時からの取組として、「会社や学校での周知」を挙げる声が多く、サイネージやSNSなどの媒体での周知も必要と指摘されました

(3)「駅やその周辺地域」から「一時滞在施設」への誘導

設問② 帰宅困難者支援システムを知らない人でもアクセスできるようにするためには、「平常時」にどのような取組が必要だと思いますか。【複数回答可】



「その他」について具体的なお意見等【自由記述】

- ・のぼり、デジタルサイネージ
- ・訓練の様様をメディアで周知するなど。
- ・神戸市主催のイベントで周知しても良いと思う。
- ・SNSでは、広告を使ってより多くの方にみていただくと一定の効果があるかと思う。

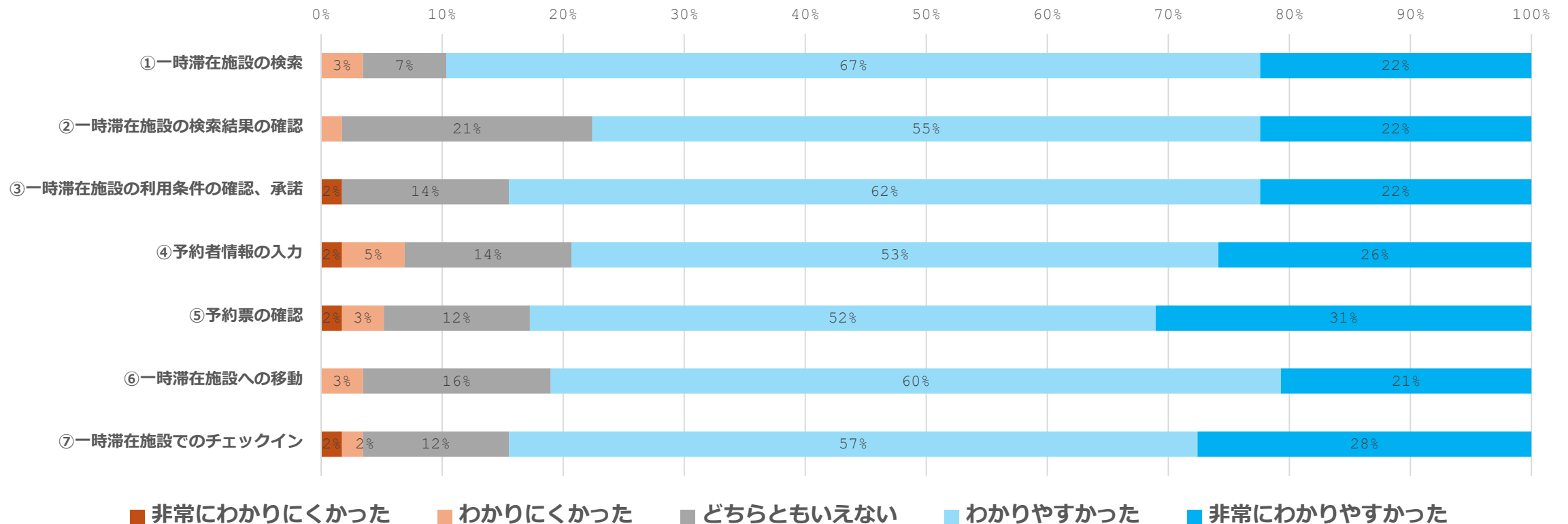
※自由記述の設問については、回答を抜粋の上、内容を一部要約しています。

帰宅困難者支援システムの操作は、概ね「わかりやすい」と評価されましたが、項目によって理解度に差があり、特に「予約者情報の入力」などで改善の余地が見られました

(3)「駅やその周辺地域」から「一時滞在施設」への誘導

設問③ 帰宅困難者支援システムの操作（下記7項目）はわかりやすかったですか。【①～⑦それぞれで単一回答】

有効回答数 (n=58)



帰宅困難者支援システムによる誘導は、一定の評価が得られた一方、年配者の操作の難しさや周知不足、問合せ体制の不備などの改善点が指摘されました

(3)「駅やその周辺地域」から「一時滞在施設」への誘導

設問④ 帰宅困難者支援システムによる誘導について、よかった点、課題と感じた点など、ご意見をお聞かせください。
【自由記述】

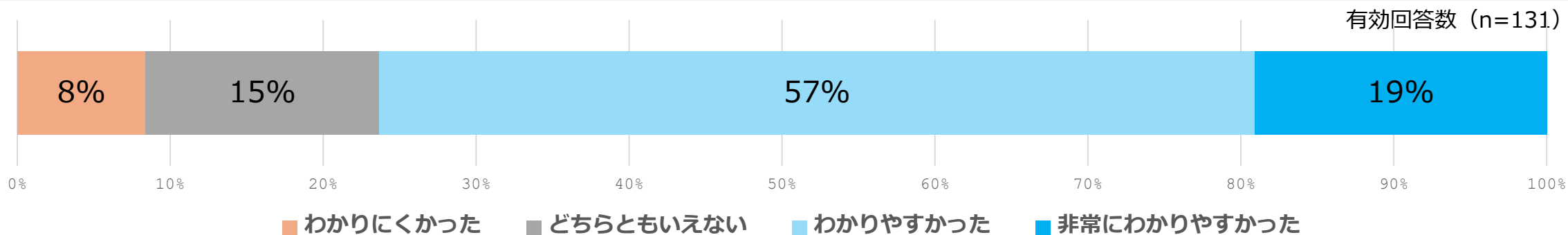
- ・様々な観点からの取組なので非常に興味深かった。
- ・検索ボタンを押す事が必要と判らなかつた。
- ・スマートフォン利用者や若年層は問題なく使用できると思うが、年配の方は操作が難しいかと感じた。
- ・二次元コードの読み取りが出来なかつたので、そこが残念だった。
- ・さらに市民の方への周知が必要と思った。
- ・属性を女性専用と選択した場合、KIITOがヒットしなかつたが、実際は女性専用スペースが設置されていた。
- ・質問の問い合わせ回答の窓口や掲示板があれば助かると思った。

※自由記述の設問については、回答を抜粋の上、内容を一部要約しています。

KIITO職員による一時滞在施設への受入れ対応は、8割近くが「わかりやすかった」と評価した一方、要配慮者対応や受付の設置場所などについて、改善点も指摘されました

(4)「一時滞在施設」における帰宅困難者の受入れ

設問① 一時滞在施設（KIITO）職員による受入れ対応はわかりやすかったですか。【単一回答】



設問② 一時滞在施設（KIITO）職員による受入れ対応について、よかった点、課題と感じた点など、ご意見をお聞かせください。【自由記述】

- ・施設職員がわかりやすく誘導していた。
- ・入口の混雑が課題と感じた。
- ・要配慮者の対応が曖昧でわかりにくかった。
- ・受付の設置場所を入口から遠い場所にすべき（天候や人数規模に対応するため）。
- ・会場での案内がマイクの声が小さくて聞こえなかった。

※自由記述の設問については、回答を抜粋の上、内容を一部要約していません。

KIITO職員からは、待機スペースの広さや施設の安全性、対応体制・物資の整備などについて課題が挙げられ、定期的な訓練の必要性が指摘されました

(4)「一時滞在施設」における帰宅困難者の受入れ ※設問③～⑤はKIITO職員向けの設問

設問③ 貴施設における一時滞在施設の開設準備について、よかった点、課題と感じた点、工夫した点など、ご意見をお聞かせください。【自由記述】

- ・待機スペースの広さが十分なのか、課題と感じた。
- ・事前登録されていない方が多く、登録方法についても戸惑う方が多かった。
- ・施設の安全性の見直しなどの必要性を感じた。

設問④ 貴施設における一時滞在施設の運営について、よかった点、課題と感じた点、工夫した点など、ご意見をお聞かせください。【自由記述】

- ・最大何人来るのか分からなかった。
- ・訓練ではある程度準備ができるが、実際スタッフが少ない状況で対応することになった場合にかなり大変だと感じた。
- ・物資の見直しなどの必要性を感じた。

設問⑤ 一時滞在施設としての訓練参加について、よかった点、課題と感じた点、他の一時滞在施設に向けたメッセージなど、ご意見をお聞かせください。【自由記述】

- ・どういふうに行動すればいいのか分かって良かった。
- ・日頃から訓練をもっと定期的に実施した方が良かった。
- ・対応できるスタッフ、人員が館内にいない場合の対応については考えておく必要があると思った。

※自由記述の設問については、回答を抜粋の上、内容を一部要約しています。

今回の広報には一定の効果が認められる一方、来年度以降は、平常時からのより積極的な周知や、多様な媒体を用いた情報発信の充実が期待されています

(5)神戸市帰宅困難者対策事業の広報

設問 今回の広報についての感想、来年度以降の広報に期待することなど、ご意見をお聞かせください。【自由記述】

【今回の広報についての感想】

- ・防災意識が高まった。
- ・これからも継続していただきたい。
- ・来年も参加したいと思う。周りの職場の仲間にも声かけしていきたい。
- ・同じような訓練にまた参加してみたい。

【来年度以降の広報に期待すること】

- ・一時滞在施設となる施設での広報強化が必要と感じた。
- ・もっと大々的にやらないと、身内の訓練で終わってしまうと思う。
- ・マスコミを利用してアピールの新たな方法を取り入れた方が良い。
- ・より多くの方々が参加できるような訓練になればと思う。
- ・さらに裾野を広くした活動を期待する。
- ・半年に一度位の頻度で実施してほしい。
- ・一般的にはまだまだ知られていないと思うので、広く周知いただければと思う。
- ・広報紙等での周知をお願いしたい。
- ・近隣の、新港町の参加者を増やして行ければと思った。
- ・事業所内での広報でしか情報を目にしなかった。街中での広報をどのようにされているのかが気になった。

※自由記述の設問については、回答を抜粋の上、内容を一部要約しています。